

区内の障害者施設の利用者が
心をこめて作った品物がずらり！

「障害者のつくる品物フェア」開催！！

本日、5月22日（木）、杉並区役所（阿佐谷南1-15-1）の1階ロビーで、区内の障害者施設の利用者が作ったクッキーやパン、手工芸品などを販売する「障害者のつくる品物フェア」が開催されました。これは、区内の障害者施設で働く方々の工賃アップを目指すとともに、多くの方に障害者への理解を深めてもらおうと、すぎなみ仕事ねっとが主催しているものです。

昨今、障害者雇用促進法の改正や障害者優先調達推進法施行などの法整備が進められ、障害のある方が社会で活躍する場は増えつつあります。しかしながら、企業で働くことを目指し、地域の通所施設などで働く方が得ている工賃は、厚生労働省の調査（※）によれば、平均で月額1人あたり14,190円となっており、障害のある方が経済的に自立することは難しい状況です。

※ 厚生労働省「平成24年度工賃（賃金）の実績について」より

「障害者のつくる品物フェア」は、区内の障害者施設で構成される「すぎなみ仕事ねっと」が行うイベントで、販売を通じて、売り上げのアップ、ひいては工賃アップを目指すとともに、区民のみなさんに、日ごろから行っている生産・販売活動について知ってもらい、理解を深めてもらうことを目的としています。

普段は、区役所1階ロビーの一角で、日替わりでワゴン販売をしていますが、年に数回、販売場所をロビー全体に拡大してフェアを行っています。

今日は、区内の15施設が、それぞれに工夫を凝らした自主生産品を販売。人気の手作りパンやクッキーのほか、区のアニメキャラクター「なみすけ」をあしらったTシャツや、これからの暑い季節に涼を届けるゴーヤの苗、暑中お見舞いにもぴったりのヒマワリやアサガオの柄の入ったはがきなど、自慢の商品が並びました。



午前11時の開始とともに、売り場に立った施設の利用者からは「いらっしゃいませ！」「いかがですか！」と呼び込みの元気な声が飛び、早速、たくさんのお客さんが机に並べられた商品をじっくりと見て回りました。パンを購入したお客さんに、直接お釣りを渡し、「ありがとうございました！」と笑顔で声をかける様子も見られ、会場はとてにぎやかな様子でした。

【報道機関 問い合わせ先】

障害者生活支援課 就労支援担当 電話 3312-2111